磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集人発行人 長瀬芳郎

縣経委小名浜を視察
小型指導船建造等を陳情
水産試験場で懇談會

縣経済委員長天野光晴、委員藤田榮久、大平正次、佐藤善太、相樂源一、小林兵衛、根本光信氏ら一行は原の町に開催中の第三回農業共進会を見学後十七日に江名町に至り一泊の上十八日小名浜町榮町小野金太郎氏所有の第一德洋丸に便乗、鈴木縣漁連会長、松井水産事務所長、菅野縣水産課長、芳賀石城地方事務副所長と共に海路來町し、出迎えの斎藤海区調整委員長菅野水産試験場長、長瀬助役、大浦經濟課長、三代漁業組合長らと小名浜の港灣施設並に地区製氷冷凍工場を視察し、水産試験場会議室に於いて懇談會を開いた・先ず菅野試験場長より全場の収支状況について説明の後、今後の「イワシ」操業資金の融資、無電局の工事設計變更（周波數變更のため）小型沿岸漁業指導船建造などを陳情するところあり、これに對して極力努力する旨の確答があつた

四倉の十一月定例議會

四倉町十一月定例町議会は十四日午前九時より役場会議室に於いて開き次の議案について審議を行つた

一、四倉、大浦組合中学校の規約設定の件
二、消防自動車ポンプ購入費起債の件
三、先決處分につき承認を求めるの件
四、四倉高等學校運動場敷地の追加買收の件

第四回磐城産業文化祭
行事及び會場等決定

第四回磐城産業文化祭は平市制十五周年記念を兼ねて來る二十二日より二十四日までの三日間平市に於いて開催されるが平驛前には既にアーチ、宣傳塔などが設けられ前人氣をあおつているが、平市でも宣傳ポスター、チラシなどを作製し各方面に配布して宣傳に努めるまた開催期間中は各商店會選抜のミス花嫁コンクール、デコ市、縣下木炭品評會、4Hクラブの発表会など多彩の行事が行われる

なお会場は次の通り

農村水産館…公会堂
商工館…公会堂日本間
文化館…地方事務所、市役所、武德殿
保健衛生館…平保健所
生活改善館…地方事務所
計画普及展示会…公民館
農機具展示と実演會…市役所

小名浜の土木委
住吉公民館の入札行う

小名浜町土木委員会は十七日午前十一時より公民館日本間に於いて開き、隔離病舎並びに住吉公民館の入札を行つた結果、隔離病舎は今町古湊作山組（作山安太郎氏）が百七十五万円、住吉公民館は仝町岡小名大平工業所（大平貞氏）が三十九万五千円で夫々落札した

隔離病舎は現在の位置に新築されるもので總建坪七一、七五坪、病室三ペット十五を設けその他に看護婦室、配膳室、氷室、洗濯室、燒却室、消毒室等が併置されるもので診療室は第二期工事として計画されており完成は來春三月の予定である

また住吉公民館は部落民の強い要望に依つて一部は部落が負擔して新築されるもので總建坪三二、七五坪、三十疊敷きの集会室に控室、ポンプ置場などが設けられる、完成は十二月一ぱいの予定

青年學級の運営委員會

湯本公民館では二十一日午後六時より公民館会議室に青年學級運営委員会を開き十二月のカリキユラムについて協議する

小名公民館運営審議會

小名浜町公民館運営審議會（会長齋藤晃氏）は明二十日午後一時より公民館に於いて開き次の議案審議を行う

▽小名浜町産業振興の具体策について
▽公民館使用料の件
▽その他

なお小名浜町公民館は先般、縣より研究公民館として産業振興殊に漁業面の研究を指定されており、その研究方法及びそれに関連した産業振興大会など公民館の運営に對する當面の諸問題についても協議する

湯本の定例町會
教委の豫算等を附議

湯本町十一月定例議会は明二十日午前九時より役場会議室に於いて開き次の議案について審議する

一、固定資産評價委員選任について
二、町表彰條例設定について
三、教育委員会の予算について
四、教育委員会の報酬及び實費辨濟について
五、町營住宅建設敷地買收について

好間中PTAの視察

好間中學校PTA副会長九里一氏ほか十七氏は十八日小名浜第一小学校及び第二中学校の施設を視察しPTA運営について懇談をなし即日歸村した

平で郡市中學校長會

石城郡、平市中学校長研究会は本十九日午前九時より平市第一中學校に於て開催、次の案件について協議すると共に分科会を開いて研究討議を行う

▼学校の管理運營・
▼教科課程と生徒指導の管理
▼學校の地域社会
▼管理の評價

續いて東京教育大学教授石三次郎氏の「中學校の管理は如何にあるべきか」の演題による講演が行われる

長倉地域に立つ
教科外活動の構想 ①

長倉小学校 宮本義門

縣教組主催の第二回縣教育研究大會は平和と獨立のための教育体制確立をスローガンに掲げて縣下の二十二支部より約二百名の代表が參集して十五日より十七日までの三日間縣教育会館講堂に於いて開かれたが、石城支部代表として出席した磐崎村長倉小學校教務主任宮本義門教諭は第八分科会に於いて平和と生産を想念した次のような研究發表を行つた

一、はしがき

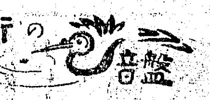
平和と生産のための教育は日本の教育の背骨である、七ヶ年の敗戦後の苦悶のなかから祖國日本が眞に獨立しようとするためには、平和を維持し經濟的に一人立ちすることは欠くことの出来ない條件であろう 從つてこの必需な條件を滿たすことは獨立のための教育こそ現実の歴史的な課題に即したものであり、日本の眞に自主的な教育であると云うことが出來よう、本当の自主的な教育を目指して苦闘し、内に外に學園の名譽と使命とを守り果たすべき二十五の同志が努め勵んだ足跡をかえりみながら、更らに前進しようとする一つの窓―教科外の教育活動―の見通しについて訴えようとするものである

二、この村

この礦山

①いわさきの村

磐崎の村は石城郡の中央に位し福島縣有數の大きな村で三十一万方粁の面積と一万二千の人口とをもち、西に湯の岳の高峯南に鹿島の台地を控え、その間を東西に走る藤原川の流域には田園ひらけ地味肥えて米麥蔬菜を育てている 山地には新炭用材などの林産もあるが特に近年石炭の産地として隆盛の一途を辿つている。いま、この村の人口の動きをみると礦業―石炭の採掘―の盛衰が人口に及ぼす影響の全く決定的である事に驚かされる 大正の末期から昭和の初期にかけて藤原三井炭坑の盛況により一万一千を突破し、現在と略同じ数の人口であつたのがその藤原坑の廢坑―採掘途上の花崗岩の障壁と坑内への地下水の湧出、續いての長倉礦の休山―經済不況による經營難―により昭和七年には實に四千二百人という火の消えた樣な淋しさになつたのであつた。終戰後常磐炭礦や戸部礦業と云つた資本の投入によつて磐崎礦の開發、小野田炭礦の操業となり人口は急速に増加したこの村の職業構成をみるとその約半數は炭礦關係者であつて終戰前後から急激に増加したものである、食と職とを求めて殆んど全國各地から寄り集つてきたもののつくりだす炭礦聚落である（敗戦當時の食生活に炭礦は特別に加配がなされていた）在來の農業関係者は三七％程で祖先傳來の耕地に前近代的な經營形態で營々と汗の結晶により生産をあげているのである



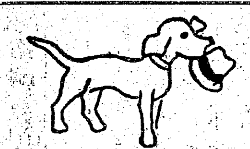
街の音盤

泉村瀧尻にある日本水素社宅に居住する馬上さんはニワトリを飼育しているが去る日の眞夜中余りニワトリが騒ぐのでこれは泥公が入つたのではないかと、寝巻姿のまゝ飛び出して、鶏舎に行つて見たところ時既におそく、舎内は荒されており「これはヤラレたなあ」と寝ぼけまなこをこすりこすり一羽二羽とドリ公の頭数を調べて行つたところ親ドリ一羽と雛一羽たりない、到々泥公に持つて行かれたかと諦めて床にもぐり込んでしまつた

サテ夜が明けてみると庭先の方で「コツコ、コツコ」とニワトリのなき聲が聞こえる、しかもそのなき聲は親ドリが雛を呼ぶ聲なので戸を開けて庭に出てみたところ、何んと盗まれた筈のニワトリが二羽そろつて歸つてきている」当の馬上さんアアよかつたと安どの胸をなでおろし「ナント物の判つた泥公もあつたものだ」と早速鶏舎へお連れ申し兄弟？縁者？に引渡きしたのこと

◉印刷工（經驗者）募集!!
◉事務員 中卒以上の女子
希望者は履歴書持参の事
◉寄宿可能又は通勤可能者
長瀬印刷株式会社

印刷ハ
長瀬印刷所
小名浜町 電219



經費をかけずに良い品安く
専門店会チケット御利用下さい
多將軍来る
冬服地ネルカセン純毛各種
ちどり絹1メ目1200円
今赤絹 1メ目 850円
カネボウ毛糸半封900円
松月印たび } 婦人別珍100円 男子石底150円 相80円豆50円
手袋――皮純毛セーム各種
マフラー130円900円
純毛スカーフ395円より
純毛婦人セーター850円
学生服外とう幼児オーバー
殿方婦人幼児ズボン各種
裏毛メリヤス大人250円
ネクタイYシヤツスキー帽
婦人黒ビロード靴580円
化粧品柳屋メヌマ ジユジユベピリオ } 80円
甘ナツト動物ヨーチ百匁60円
カリントビスケツト百匁50円
皆様の店 平マーケット
小名浜町第二小学校前 電話297番

生活を明るく讀書で樂しく
◎昭和文學全集◎
家庭に〃 学校に〃 圖書館に〃
＝予＝約＝募＝集＝
東京＝角川書店版
"この内容〃"この豪華版〃"この廉價〃
―新刊・書籍・雑誌―
豊富充実
田邊書店
錦町中田（呉羽化学正門前）
TEL（植田）215

内科 小兒科
會田醫院
院長 會田亮
小名浜町横町（電一四八）

（政府寶クジ）
秋にふさわしい
200萬圓の夢のせて
2本綴50円 抽せん11月30日
じつと手と見る 啄木の
くらしの歌じや ないけれど
らくになるのは いつのこと
かせぎをさいて せめてもの
たのしい夢を くじに抱く
（日本勸業銀行平支店）

無免許で乗れる
自轉車補助エンヂン
ホンダのカブ號
販賣店 宮下商会
小名浜町

會社側妥協案を提示
地勞委 中山會長乘出す
勞組は四八時間延期で檢討

日本水素小名浜工場労組の一時金四千五百万円要求については去る十四日第六回の団体交渉の結果会社側は現下の企業状態よりおして二千五百万円以上は到底出し得ないとの回答に基き、勞組では斗爭委員会を開き協議した結果、十八日正午を期して二十四時間ストを斷行することになつたことは既報の通りであるが、十八日の斗爭本部は自由平和、獨立などの旗印を掲げ斗爭委員は早朝よりつめかけ、出入する組合員の顔にも決意の程がうかがわれて何にか緊迫した空氣がたゞよつていた折柄社会黨の松井政吉代議士は陣中見舞いに来組して激勵するなどスト目前にして斗爭本部の動きは活發であつたが午前九時より行われた第八回の團交には會社側より斡旋方を依頼した地労委より中山会長が出席して次の會社案を提示した
一、二千五百万円を十二月までに支払う
二、十一月分より基礎給に三百五十円を加算して支給す
そのため勞組では即時擴大斗爭委員会を開き、取敢ずスト決行を四十八時間延期して全案を檢討することになつたが、必至とみられていたストも勞資双方の歩み寄りと地勞委の斡旋により一應解決するのではないかとみられるに至つた

保護司の懇談會
湯本高校で開く

湯本地区少年保護司協会ではこの程全町少年保護司楠正憲、全井上純、全柳沼公助、湯本高校長篠原理男氏ら關係者三十余名が湯本面校に參集して少年補導懇談會を開き「青少年の不良化をどう防ぐか」のテーマに討論協議を行つた その結果湯本町は炭礦街という特殊環境のうちにあつて保護を要する少年の數も百名に及んでおりその善導については高校生によるボーイスカウト運動を中心として積極的に兄姉の愛情により導くことが第一であり、更に良い環境をつくるための基金の募集を行うことなど申合せた 当日の關係者が提示された主なる意見としては
①パチンコが余りに多過ぎる
②街頭宣傳のスピーカーが朝から夜遲くまでガナりたてるためにうるさくて勉強が出來ない
③安心して遊べる遊園地が少ない
④品川白煉瓦工場前附近の特殊店接客婦達が學生にも呼びかけており風紀上よくない
⑤教師の忠告よりもグループから除外されるのをおそれている者が多く、グループの善導も考慮すべきである
などであつた

北千島の思い出
空襲体驗記
今田正美

スリル滿喫に見るもの聞くものに忙しく侵入機の數をかぞえかねたのは殘念であつた、いつの間にか襲撃も終り砲聲も靜まつた 先の東から西への高々度侵入機は牽制隊であり、後の低空襲撃が本隊であつたわけだ、同時襲撃を狙つたのかも知れないが十分の差があつた

十時空襲警報が解除となつた、後で聞くと九時に空襲警報が出たそうであるが連絡に徹底を欠いたのであつた、隼戰鬪機は數機ずつ入り代り立ち代り飛び立つて遥か海上に邀撃している模様であつた、眺める目前の昭南丸は煙筒下方を後部に曲げ薄煙りを吐いて機關部附近に被害を思わせる、長崎工場の火災は刻々と烈しくなる、集積ドラム罐の燃料が燃えている、殆んど無風で黒煙が眞直ぐあがり上空で傘のように擴がつて凄然たる美觀を呈している 片岡湾の商船一隻は濃い蒸氣を吐いていたがやがて焔を見せ黒煙を上げ出した、船内の火勢激しさを思わせる、船橋が燃えだした、小型船が周圍に群がつて消火と救助に懸命であるようだ、この船は約二時間余り燃え續けていたが曳航して辛くも鎮火することが出來た

捕虜を一人捉えたという騒ぎが起きた、見に行く人が走る、走る人を見ると他の一群の人も走る、ツラッとばかり騒ぎも大きくなつたがこの捕虜は撃墜機から海中に落ちた二人のうちの生存者だとのことであつた、この空襲は北千島に第三回目の空襲であり第一回、第二回は体驗出來なかつたが今回は終始そのスルリを体驗した 片岡湾で火災を起した船は正島丸(四二〇〇屯)で機關部上部、右舷寄りに被彈破烈し外板三枚吹き飛ばし、汽関室より發火して次第に船橋樓に及び殆んど燒失、たまたま日營から荷役の協力隊一隊本船に在り、一番艙内には十二名、四番艙内に一名で前者に輕傷を二名出したほかは無事だつたが、四番艙内組は船橋樓通路に退避したため爆風彈片に殪れ、次いで火災となつたため殆んど全滅黒焦となつて顔の識別もつかず、氏名も不明というものが數名あつた、即死の船員約三〇名と共にこの日の悲慘な犧牲者となつたのは痛恨事である 長崎工場海岸に並べたドラム罐入りの航空用ガソリンが機銃彈で引火し次から次と誘爆して倉庫に延燒し軍の貴重品が澤山燃えた、被服、食糧、石鹸、菓子など融けて山になつているのは惜しいと思つた 空襲は度々受けたがこの昭和十八年九月十二日秋晴れの日の空襲は自分の初体驗であつて忘れられない印象なのである

錦自勞組の映画の會

錦町自由勞組は結成以来組合員一同が苦るしい生活に追われている立場にありながら、常に橋本組合長を中心として結束、自主的に町内の下水溝掃騰芥整理、學校の植樹など就業時間外を利用して奉仕をなし町に対して涙ぐましい努力を續け、去る九月の組合創立一周年記念手拭を町内有志に贈るなど高木町長をはじめ一般町民より感激されており、過般來町された縣衛生課長よりは表彰を受けるという縣下のモデル組合であるが、この度厚生資金獲得のために來る二十一日午前十一時と午後六時の二回錦座に於いて映画の会を催すことになつた、上映映画は松竹の大作「鞍馬の火祭り」大映作品「清水港は鬼より怖い」の二本立であり相当の盛會が予想されている

平で木炭の品評會

第三回縣下木炭品評会は來る二十二、二十三の兩日平市礦宜町平運輸株式会社倉庫に於いて展示會を開催する なお褒賞授與式は二十三日午後一時より平第二中學校講堂に於て行う

小名浜一中優勝
ニッタク杯爭奪卓球

磐城スポーツ連盟卓球部石城地区中体連、高体連石城支部主催、大塚運動具店後援による第三回ニツタク杯爭奪卓球大會は平第一小學校講堂に於て十六日午前九時より選手約三百名參加して開催、連盟会長遠沼龍輔氏の挨拶後直ちに競技に入り火花を散らす熱戦を展開した、優勝チームは次の通り
◉中学校の部(団体)
▽男子優勝=小名浜一中 準優勝=好間中
▽女子優勝=好間中、準優勝=小名浜一中
◉高校の部(個人)八十名の選手參加して個人戦を行つた結果男子では平商横田、平工増田、同金澤が勝ち残り決勝戰は二十三日磐女講堂に延期された
◉一般の部(個人)優勝候補の隨一と自他共に許して居た全小名浜は一回戰に常磐Dと對戰、もろくも一敗地にまみれて姿を消し番狂わせを演じた
▽優勝=常磐A
▽準優勝=平電通

泉の鳥居氏『天位』
平の菊花展覧會終る

平市公會堂前廣場に於いて開催された磐陽菊花会の菊花展覧会は出品數五百三十点に及び、いずれ劣らぬ見事な逸品揃いに観覧者を喜ばせていたが去る十五日をもつて閉会となり審査の結果入賞を次の通り決定した
◉切花厚物、天位=藤田軍次郎(平)地位=高木ツマ(平)人位=鳥居東一(泉)
◉切花細管、天位=鳥居東一(泉)地位=藤田軍次郎(平)人位=竹原英次(平)特選=大庭美樹
◉盆栽 天位=秋元伊太郎(好間)地位=竹原英次(平)人位=高木ツマ(平)
◉懸崖、天位=緑川德男(好間)地位ー緑川德男(好間)人位ー月延家(平)

内郷でアンマ講習會

内郷町公民館では二十八日午後一時から婦人会、主婦の会、未亡人会などの主婦連を集め「主婦のアンマ講習会」を開催することになつた 常に悪戰苦闘している御主人公や年寄にも親孝行出來るわと、早くも主婦連は期待してい

冷藏庫に温度計取付け
平保健所

平保健所では毎年魚介類による食中毒の災害の防止策として關係各業者に對し冷藏庫の正しい使用が必要であるとして攝氏十度以下の機能をもつた温度計を備えるように望んでいる これは食品衛生法施行細則の許可及び採点基準にもなるものであり、價格は取付料金その他部品などを含めて一組七百五十圓となつており希望者は速急に全保健所に申込まれるよう なお取付は日本衛生材製造所が出張取付けを行うことになつている

トラックにはねらる

好間村北好間鳳城炭礦小田勞組副組合長飛澤正勝(二九)さんは十六日正午ころ全炭礦のトラックを運轉し永戸村合戸地内で全字農青木タマエ(三八)さんをはねとばし頭部に全治二週間の傷を負わせた

天氣豫報 19

【本日】北西のち南東の風晴のち曇りがちの天氣となりましよう

【海上】多少波だつこともありますが穏やかなほうでしよう

魚菜市況 18

【小名浜中央青果市場】卵一〇〜一〇、九へら菜一二甘諸二〇〜二八人參二〇〜四〇丸大根二〇〜三三切芋一三〇〜一五五大根一〇〜二〇あぶら菜一六さし柿五〇〜七五葱五〇〜六一白菜一五〜三五玉葱一四〇牛蒡五六〜七〇胡瓜五〇澁柿三五〜三八玉菜二六〜四〇里芋四〇〜五〇馬鈴薯三五〜四六

【小名浜魚市場】さんま三五〜三八

おいしいお菓子
樂しいお店
香よきコーヒー
おしるこの味
小名浜町橋本電一七
國華堂賣店

各種印刷の御注文は長瀬

おいしいお菓子
樂しいお店
香りよきコーヒー
おしるこの味
小名浜町橋本電一七
國華堂賣店

急募 看護婦 若干
久保田醫院
院長 久保田眞
副院長 久保田眞一
助産婦 久保田イネ
小名浜町横町(電二二

配當月三分拂
三井信託金庫
平市新川町二九
TEL38

うまい醤油
うまい味噌
ホシ友
友
ホシ友
ホシ友
ホシ友

ホシ友醤油株式會社 社長 星 友太郎

外資導入？
いな外車購入である
江名營業所開設に伴い
新たに新車二臺購入
スマートなその容姿と
乘心地よきクッションとは
共に皆さま方より御好評と
御愛用とを賜わつて居ります
御試乘を切に御待ちして居ります
小名浜町第二小學校前
小名濱タクシー
電話六四番